

# ハイハイプロジェクト実施報告書

## 1 実施要項

期間：平成 28 年 11 月 3 日（木）～平成 28 年 11 月 4 日（金）

	日	時間	主催	会場	内容	人数
①	11/3 (木)	15:30～ 17:00	北海道 猿払村	猿払村 鬼志別保育所	専門職・ 保護者向け 研修会	保育士 15 名／保健師 1 名／保育ボラ ンティア 3 名／保護者 4 名
②	11/4 (金)	9:30～ 11:10 13:30～ 14:30	北海道 猿払村	猿払村 鬼志別保育所	園児・通所 親子向け 運動実技	【園児】2 歳児 4 名／3 歳児 28／ 4 歳児 12 名／5 歳児 19 名／ 【親子】5 組 6 名（3 歳 3 名／1 歳 7 ヵ月 1 名／10 ヵ月 1 名／8 ヵ月 1 名）
③	11/4 (金)	17:30～ 20:00	北海道 稚内市	稚内市 保健福祉 センター	専門職向け 研修会	保育士 18 名／保健師 8 名／民生児童 委員 6 名／支援センター等支援員 4 名 ／日赤 2 名／作業療法士 1 名／理学療 法士 1 名／ファミリーサポートセンタ ーアドバイザー 1 名／養護教諭 1 名／ 運動指導者 1 名／保育園施設長 1 名

## 2 内 容

### ①『体づくりの根っこは0歳から～乳幼児期の運動発達を促す支援～』

#### 1 1 / 3 猿払村 専門職向け研修会

「こどもの体、何か変？」の切り口から  
1歳までの身体活動がそれ以降の発育発達、  
体力の基本になることをわかりやすく事例  
も含めての90分の講座。  
保育現場、家庭でできること、やった方が  
良いことなどをスライドと資料で伝えてた。  
参加した方々はうなずきながら聴いていた。



### ②『運動遊び実技編』

#### 1 1 / 4 猿払村 園児・子育て支援センター通所の親子対象運動遊び

発育発達のステップに沿った遊びの提案と実際。

午前中の園児達は目を輝かせて夢中で楽しんでた。運動遊びの前後にかけっこでコーンを折り返したが、子ども達は遊び後の方がまっすぐに走り、上手にコーンを折り返していた。これには先生達も驚いていた。

午後からの親子では家庭でもできるからだ遊びやじゃれつき遊びの提案と実際。家でもたくさんのかからだを使う遊びができることを親御さんに知ってもらった。



### ③『体づくりの根っこは0歳から～乳幼児期の運動発達を促す支援～』

11 / 4 稚内市 専門職向け研修会

1歳までの身体活動がそれ以降の発育発達、体力の基本になることを豊富な経験と事例からのお話。赤ちゃんの目線になってみる。仰向け～うつ伏せ～よつ這い どの姿勢がワクワクする視界かを体験。専門職以外にも民生児童委員や運動指導者の参加もあった。



### 3 感想

〈11月3日 猿払村専門職・保護者研修〉

- とてもためになりました。参加してよかったです。ありがとうございました。
- 自分の子育てや日々の保育を振り返り良かった点、悪かった点、考えさせられました。お話の内容も、テキストもとてもわかりやすかったです。
- 大変勉強になりました。日頃、乳幼児健診等で感じていた事を、先生もおっしゃっていて、根拠とともに、伝えていただけてとても、納得できました。具体的な指導方法はすぐにでも、実践していけることばかりで、ためになりました。ありがとうございました。
- 6歳・4歳・10ヵ月になる子どもがいる母です。一人一人に違う悩みを持っていました。その悩みも根本は、うつぶせ～ハイハイが重要なんだなあ実感しました。これからは、少しでも悩みを解消出来たらなと思います。自分の事もあるので参考にしたいと思いません。本当にありがとうございました。
- 子どもの発達に、飛び級はないということの意味が改めてわかり、今後の保育に活かしていこうと思いました。また、保育の中で子どもが落ち着かない状況も多く、悩む事もあります。子ども達が沢山身体を動かし、発散していける環境も少なかったのかなと反省です。安全に配慮しながらも、チャレンジして自主的に運動遊びができる保育設定を行いたいです。
- 保育士として知っておかなければならない知識をより深く学ぶことが出来ました。実際に赤ちゃんの目線を経験することによって、子どもへどんな関わりをしたら、こんな効果があるなど知ることが出来ました。明日からの保育で、より沢山の経験を子ども達ができるように、今日は聞かせていただいた、お話を役立てていきたいと思えます。貴重なお話ありがとうございました。

- 私の周りにも、めいっこおいっこがいて活用できる事や、姉や妹に教えてあげられることが、沢山ありました。保育の中ではもちろん、日々の生活で役立てる事や、自分がお母さんになった時に、教えていただいた事を実践しようと思いました。ハイハイや寝ている時の視界の広さや、改めて自分ら体験してみて気がつきました。お話かけて良かったです。ありがとうございました。
- 先生のお話を聞かせていただき、自分が子育ての中で、ただ単にやらせていた行為(足をなめる等)が実は重要であった事や、日頃保育をする中で、ハイハイが出来ない子がうつ伏せの経験が少なかった事が原因であった事にも気づかせていただくことができました。一つ一つの事には決して無駄な事のないという事を再認識できました。ありがとうございました。
- 乳幼児期の体験・経験が運動発達に大きく影響することを、改めて学ぶことが出来ました。乳幼児を過ぎてからの色々な気になるところに、影響することがわかり、保育士にも、保護者にもとても参考になるお話でした。
- 発達に飛び級はないという言葉がとても、印象的でした。汚い、危険、不安と言う事で、必要な事を子どもから排除してしまっていた部分もあるのかな。。。と反省するところもありました。時代とともに、環境や便利グッズも変わり、それも善し悪しだなあ。。。と思います。今日は貴重なお話ありがとうございました。
- お話は、きちんと確認できたと思います。どこを使っているかと、観察の中で思う事ができるとその先もちょっと見えるかもしれません。大切なお子さんを預かっている中で意識も変われると思います。その場限りで終わらない様にしたいものです。
- とても解りやすいお話でした。今行っている保育を自信を持って出来るためにも、もっとしっかりと発達過程を勉強し、保護者に伝える事ができるように、していきたいと感じました。ありがとうございました。
- 遠い所、ありがとうございました。子育て、自分はあまり手をかけずにしてたかもしれない。子どもが自分でやれた事があったけど、現代は子どものやることを、先に手を出しているように思いました。便利グッズを使い過ぎている様におもいました。使い方を考えて使う事を、伝えられるようにしたいと思いました。本日はありがとうございました。
- どんどん子どもと遊んで行きたいです。見守りは大切だと思いますが、「危ない」「汚くない」「ダメ」などは、親でも言うてしまうものです。保育の現場でもっと、もっと自由にやってほしいです。親から言われる等、大変そうと思ってしまいます。なので、もっともっと親が参加して、知識を持ったら、良いのになあ～と思いました。忙しい母親がおおいのかなあと、どうしても時間、余裕がない、子どもを見守れない。。。とっても残念ですね。村に公園がほしいですね。

- 生活の中で遊ぶことそれが、大変大切であったと思います。自分が幼小の頃の遊び（外環境が良かったので）が沢山出来たのですが、自分の子どもの頃は外で遊ばなくて、きちんと再学習できたか不安です。しかし、色々な面で人より遅くても、再学習が出来るものだと思います。それなりに育ってきました。久し振りに、よいお話を聞いて、これからの保育に気持ちの持ち方や、考え方をしっかりもって、御世話していきたいと思いました。ありがとうございました。
- ハイハイ講座に参加させて頂き、お話を聞く前は「どんな内容なんだろう？」とハテナ？も多かったのですが、終わった後には、「お話を聞くことができ、良かった」と強く思いました。「ハイハイはしたほうが良い」とよく耳にしますが、なぜそうなのかという理論的な事はわからなかったので、今回、学ぶことが出来て、本当に良かったです。長女が生まれる前に、聞けたら、もっとよかったなあという思いはありましたが、これから2人目が生まれるので、積極的に子育ての中で取り入れて、いきたいです。つい私も、娘やクラスをもっていたときは、子ども達の遊ぶ様子を見守りながらも、「危ないよ」と声をかけがちですが、やってみないと学べない事もあるということを、頭に入れながら、子どもの身になっていくということを、信じて、見守れるようになりたいと思いました。樋口先生、お忙しい中本当にありがとうございました。
- 「からだづくりの根っこは0歳から」と題し、お話と少しの実技も含め研修させていただきました。発達には段階があり、どれかを飛ばしてしまう「飛び級」はないというお話でした。我が子の乳幼児期を思い出しながら聴き、少々後悔の念もわき、もう少し早くこのお話に出会いたかった。。。と心から思いました。中でも印象的だったお話は、「発達は学び直しができる」ということでした。日々関わっている子ども達の発達状況はどうなのか、今、どのような段階の活動があてはまるのかということ、年齢だけでなく状況により個々への対応も必要だと感じました。発達段階については分かっているつもりでしたが、お話を聴いてより理解が深まり根拠がはっきりとしたことは、今後保育の中で運動遊びのカリキュラム整備等に生かしたり、保護者への伝達もよりしっかりとしていけることにつながるかと思います。次の日の運動遊びでは、子ども達が本当に楽しみながら遊びを取り組む中で、全身をしっかりと使っていく様子をととても新鮮な思いで見せていただきました。2日間で学んだ研修・実技を、しっかりと今後の保育に生かし、子ども達や保護者に還元・伝達していきたいと思えます。

〈11月4日 猿払村子育て支援参加者親子〉

- 改めて理解する事があり、とてもためになりました。参加できて、良かったです。
- 昨日に引き続きありがとうございました。今日は実践編という感じで、とても参考になりました。こんなに、小さくても、けっこうアクロバティックなことも出来るんだな〜と思いながら、みさせていただきました。家の中でできることは、限られてしまうかもしれませんが、楽しく遊びたいと思えます。ありがとうございました。

- 身体を使った遊びの大切さ、楽しさを改めて実感し家にあるおもちゃで適当に遊ばせ続けるのは、よくないんだなあと反省していました。興味のある話を沢山してもらい、とても勉強になりました。ありがとうございます。
- これから子どもが生まれてくるので、参考になりました。ハイハイが大事なんだなあとわかりました。
- とても楽しい時間を過ごせて、嬉しかったです。これからもどんどん子ども達と触れ合っていきたいです。2日間ありがとうございました。

## 4 所 感

〈所感：樋口〉

北海道最北端の宗谷地方でハイハイプロジェクトを7月に続き実施することができました。

猿払村鬼志別保育所では、専門職研修（保護者も参加）と園児への発育発達運動遊びの実践、子育て支援センターで保護者へ講話と子ども達には運動遊びを行いました。

稚内市の専門職講座は乳幼児に関わる多くの方にご参加いただきました。

子どもたちへ発育発達に沿った運動や多様な運動遊びを行いながらいつも感じることは、短時間の運動でも起こる体の変化や気持ちの変化です。

走り方が力強くなったり目の輝きがキラキラしてきたり、表情もどんどん変わってきます。先生方もその変化を感じ取ってくれたと思います。

「またやりたい!」「また来てね!」という子どもの言葉が一番の褒め言葉になりました。

専門職研修でいつも感じることは、現場のベテランの先生方は「子どもの成長に何が大事か」分かっているけど、理論的に上手く説明ができないでいることや、昔は当たり前やっていたことがいつの間にかいろんな気遣いで、「やれなく?」「やらなく?」なっていることです。しかし、話を聞いてヒトの発育発達に飛び級がないこと、必要なこと、大事なことを再確認して納得している様子を感じます。

専門職だからこそできることがある。

専門職としての誇りと自信を持って子ども達が元気に育つために日々のお仕事に活かして欲しいと思います。

更に、保護者からも聞いていただき共通理解できることで、家庭と保育園や学校、地域が連携して子どもを取り巻く環境を整えることができると思います。

これから厳しい冬に向かい外での遊びが難しくなる時期、保育活動に積極的に取り入れてもらえたら必ず子どもが変わると信じています。

今回もご縁を作ってくれた稚内でご活躍の門間さん、猿払村、稚内市の皆様に心から感謝申し上げます。

〈所感：門間〉

7月に引き続き、健康づくり推進機構 BTB の「ハイハイプロジェクト」の一環で、再度樋口先生に宗谷へ来ていただきました。今回は猿払村と稚内市の2市村。

7月に猿払村の隣町で開催した講座の評判も聴いていたようで、保育士さんはじめ、参加された方々の関心度は高かったように感じます。樋口先生の沢山の経験と知識と裏付けされたエピソードは何度聴いても心に響きます。特にいくつかの事例のイラストとお話では園児に似通ったケースの子どもをイメージしながら具体的な保育中のサポートや関わりも知れて、現場ですぐに活かせる講座にみなさん手応えをかんじていたようでした。

今年度、宗谷管内4つの市町村で講座を開催いただいたことを活かすためにも街や保育園、子育て支援センターなどへ今後の働きかけも重要であると思いました。子どもに関わる大人が共通理解のもと連携し、家庭・保育・幼稚園・小学校などで運動発達を取り入れた遊びや活動ができるように私自身も地元地域での活動に力を入れていこうと思います。

最後になりましたが、この度、ハイハイ講座を宗谷で開催の提案に快くご賛同いただき主催下さった猿払村、稚内市の皆様に心から感謝いたします。ありがとうございました。ハードスケジュールの中、講座をしてくださった樋口先生本当にありがとうございました。

今後も北海道の子ども達が心身豊かに笑顔で元気に育ち、大人もイキイキ輝いて健康な家庭が増える様、北海道から日本の元気の創造に貢献できるよう勤めていく所存です。

以上

報告者 北海道稚内市 門間 奈月  
(特定非営利活動法人 健康づくり推進機構 BTB 理事)